

企業の責任者の倫理観を超えることは無い 0216

企業の考え方は方針で明確になります。

日本には、オーナー自分自身の資産を増やすことで頭がいっぱいの経営者は意外と多いものです。

「昨年一年間で君は資産をいくら増やしてくれたんだ」

「この10年で資産は減る一方ではないか」

「売り上げより資産だ」

このようなことを、私は、オーナーによく言われたものです。

言葉で鼓舞すること

宗教団体でも、政治結社でも、まず方針を立てます。具体的には、何でもいいのですが、妊娠中絶反対とか、ビルの解禁とか、当然、食品工場にふさわしくないのは、いけません。

わかりやすく、毎日朝礼で唱和できるようなものが、ベストと思います。

宗教がかっているとか、哲学とかいいますが、企業は人の集まりですので、結局その方針を見て人が自分自身で動くようなものがが必要です。

世界の人に愛される食品を作ろう

品質で世界一になろう

などのようなものが考えられます。

ただ

クレームの発生しない工場

食中毒は起こさないように

などと、ネガティブな方針はふさわしくないと考えます。ポジティブで明るい方針が良いと考えます。

具体的には

- 1 社内外の人々の行動の指針になること
- 2 一般に認められている倫理感と一致していること
- 3 例外事項が出たときの柔軟性があること

方針ができましたら、工場長自ら大きな紙に書いて、朝礼で発表して毎日の朝礼で唱和することが必要です。朝礼で話す方の後ろに、工場長の直筆で書いて額に入れて、飾ること、その前で、毎日毎日、方針に基づいたことを、工場長自らが話すこと。これが、まず工場長の一歩だと思えます。

- 1 従業員の働きがいがある工場にすること
- 2 地域の方に必要な工場にすること
- 3 お客様に信頼される商品造りをする

この三点が何らかの形で盛り込まれていることが大切です。

では、背景についてお話ししたいと思います。

- 1 お客様に信頼される商品造りをする

あなたの工場の製品が無くなったら、消費者の方から「何で無くなったのですか毎日楽しみにしていたのに」「この商品が無くなると困りますよ」。なんて電話が

掛かってくるような工場にしたいものです。

2 従業員の働きがいがある工場にすること

黒沢監督の「生きる」という映画があります。いまリングの様にハリウッドでリメイクを考えているみたいですが、その「生きる」の主人公の様に何故働くのか考えたときに、あなたの工場で働いて良かったと言ってくれる人が、何人いますか。働きがいのある仕事、この会社、工場に勤めて良かった。

この工場長の下で働いて良かったと、思わせるためには、どうしたらいいのでしょうか、ちょっと難しい問題です。是非、皆さんに悩んでもらいたい点です。

3 地域の方に必要な 工場にすること

工場閉鎖にしたとき、地元の方はなんて話しますか。

「働く所が無くなった」

「税金が入らなくなった」

「煙が出なくなって 良かった」

「トラックが危なかったから、これでやっと安心して歩けるね」

職場が無くなった事以外に、この地域に愛されるためにはどうしたらいいのでしょうか。

言葉では簡単です。家庭の中のあなたと一緒にです。普段はいなくてもいいのに、いざいなくなってしまうと大変な事になる。たとえば、毎日吸っている空気のように、当たり前のようにあるけれど、無くなると生きていけなくなるような存在、そんな存在に工場がなれると幸せだとおもいませんか。

そのために、あなた、工場長は何をしたらいいのでしょうか。

これも宿題です。

あなたの直筆で、工場の方針を書いて、唱和することを、お勧めします。

[食品工場の危機管理の基本](#) [危機管理センターについて](#) の [目次に戻る](#)

こんな事が聞きたい方は [連絡先](#) から お願いします。



<http://ja8mrx.o.oo7.jp/koujyou1.htm>